

2016
SOCIALWELFARE
CORPORATION
SHINKO
FUKUSHIKAI
ANNUAL
REPORT

SHINKO FUKUSHI KAI DOES
ITS UTMOST TO PROTECT
YOUR WELL BEING BY
CONTINUING TO FIND
AND SERVE YOU
WITH THE VERY BEST

社会福祉法人 伸こう福祉会
アニュアルレポート [2016年4月]

社会福祉法人伸こう福祉会 

報告対象期間 2015年4月から2016年3月
発行 2016年4月
発行責任者 足立聖子

本誌へのお問い合わせ
伸こう福祉会 総合案内所 勘里絵利奈
〒247-0014 神奈川県横浜市栄区公田町251-6
TEL: 045-890-6116 FAX: 045-890-6115
<http://www.shinkoufukushikai.com>

SHINKO FUKUSHI KAI ANNUAL REPORT 2016

本報告書では、社会的責任の国際規格 ISO26000 における7つの中核主題（下図）の視点を組み入れた構造で、皆さまへの報告を行っております。



主題と報告事項との関連については、P.30をご参照下さい。

MESSAGE FROM EXECUTIVE HEAD

2016年、私たちは 「外」とつながる一年とします。

2025年に、日本が「国民の4人に1人が75歳以上となる社会」になることに伴い、現在様々な法整備が行われています。

その中で出された「アベノミクス 新・3本の矢」は、「希望を生み出す強い経済」「夢をつむぐ子育て支援」「安心につながる社会保障」を謳い、「一億総活躍社会」を目指すとしています。これは、単に個人の幸せの追求のみならず、一人でも多くの国民が国の経済活動に参画することで、経済の衰退を避けようという意図もあるのではないのでしょうか。

私たちも、国が目指す「一億総活躍社会」の一端を担うべく、今より更に、高齢のスタッフや外国籍スタッフ、障がいと共に生きるスタッフの雇用を積極的に進め、法人内の多様性を追求して参ります。

また、法人内の活動に留まることなく、2016年度はもっと「外」との連携を強化したいと考えています。外部のお力を良い形でお借りして、地域に向けて様々な「よきもの」を捧げ、地域と共に、法人も成長・発展を目指していきたくと思っています。

そのためにも、まずは私たち一人ひとりが今いる場所から一步「外に出る」、2016年はそんな一年にしていきたいと思えます。

皆さまの引き続きのお力添えを、どうぞよろしくお願いいたします。

社会福祉法人 伸こう福祉会
理事長

足立聖子

理事長メッセージ…P3

私たちの理念…P4

中期計画I期「人」づくりを振り返る…P6

新規施設の開所…P11

CSRに基づく伸こう福祉会の取り組み…P12

1. お客さまとともに
2. 地域社会とともに
3. ビジネスパートナーとともに
4. スタッフとともに
5. 自然環境の中で

2015年度事故報告…P27

財務/ハイライト…P28

ISO26000中核主題対照表…P30

メディア掲載一覧…P31

施設一覧…P32

中期計画Ⅰ期

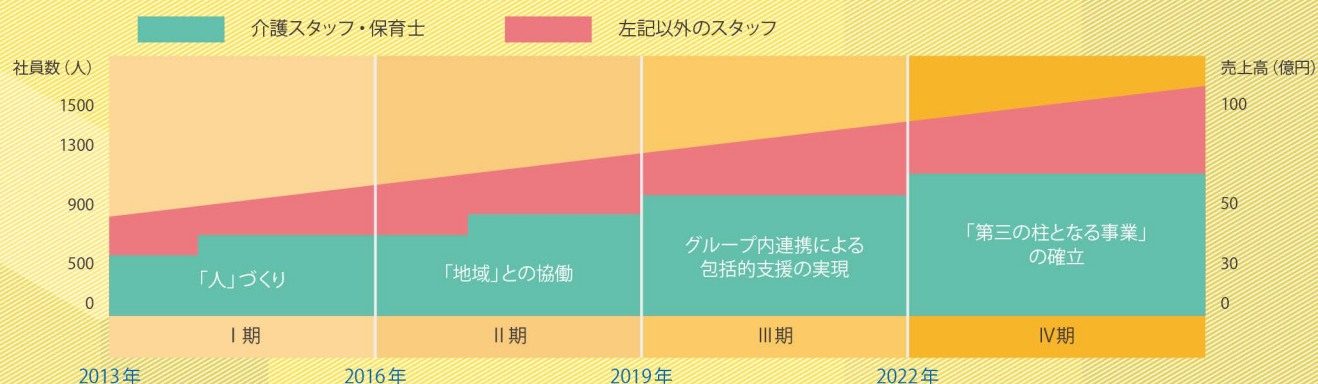
「人」づくりを振り返る

DEVELOPMENT OF HUMAN RESOURCES



迫る「2025年問題」を見据え、伸こう福祉会では2013年に中期計画を策定しました。3年を一つの区切りとする本計画において、2015年度は、「人づくり」をテーマとするⅠ期の最終年です。すべての活動の基本は「人（スタッフ）」。「伸こう福祉会らしい人」づくりに注力し、法人としての基礎体力をつけることに取り組みました。

3年ごとのテーマとスタッフ数、収入見込み



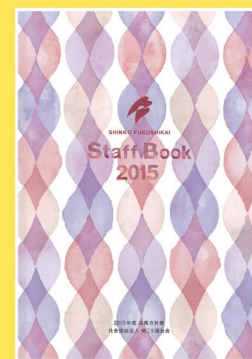
「経営計画書」を用いて方針を共有する

毎年度、法人の理念や守るべき約束、今期の実行計画や予算を記した「経営計画書」を作成しています。経営計画書 (Plan) を基に、サービスを実行し (Do)、監査によるチェック (Check) の上、各会議体において、サービスの改善に励んでいます (Action)。
本アニュアルレポートは、「第18期 経営計画書」に基づき報告を行うものです。



「品質方針」の明確化と伝達

基本理念を実践するための方針をまとめた冊子「2015年度品質方針書『Staff Book 2015』」を制作し、常勤・非常勤を問わず全スタッフに配布しました。本書は、2014年度以前は「経営計画書」の一部の章に記していたものですが、スタッフが確実に実行に移せるように分離させ、考え方や業務の基準を新たに加え、より具体的な内容としています。

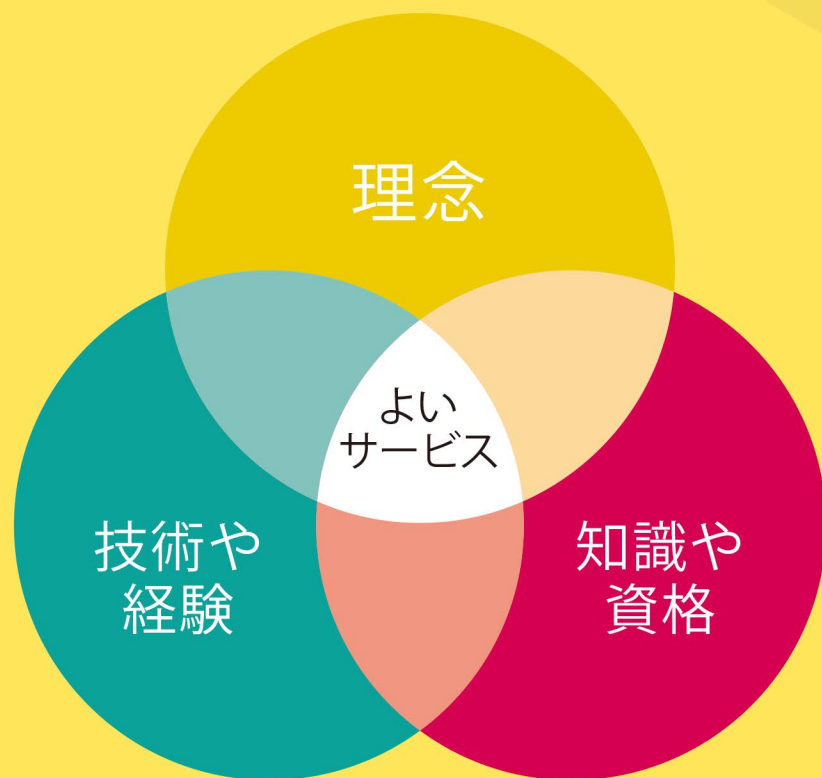


正しい「環境整備」を行なうために

私たちは、環境整備を法人の姿勢そのものと捉え、空いた時間ではなく業務時間内の30分間を充て、スタッフ個々に決められたエリアの「規律」「清潔」「整頓」「安全」「衛生」を整えることを義務としています。2015年度は毎月1つずつ「環境整備」と「おもてなし」をリンクした重点項目をその月の「環境整備目標」として発信し、全社で実践しました。



4 2015年度研修

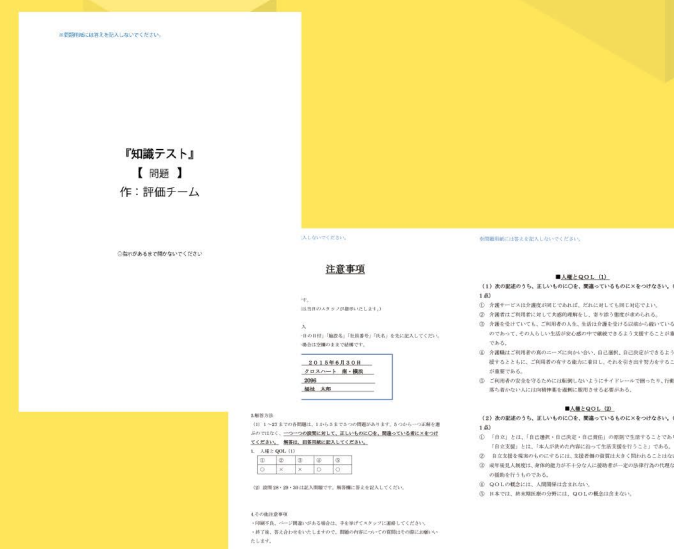


伸こう福祉会では、“やさしさ”“素直さ”“勉強好き”“プラス思考”などの「基礎的能力」を持ち合わせるスタッフが、法人としての「理念」、仕事をしながら得る「技術や経験」、専門職としての「知識や資格」を身につけていくことによって、お客様によりよいサービスを提供することができると考えています。

そのため、面接時には後から教育できない「基礎的能力」の確認に重点を置き、入職時の研修や全スタッフが一年に一度受講する研修で「理念」を伝え、入職期間・役職に応じた総合的な研修や各施設でのOJTで「技術や経験」を重ね、専門職毎の研修や資格取得をサポートする研修で「知識や資格」が得られるよう、取り組んでいます。



また、それらが実際に理解され、身につけているかを確認するために、介護福祉士試験問題を参考にして作成した「知識テスト」を行っています。本テストは、初めて介護に携わったスタッフが学びを得るためだけでなく、ベテランのスタッフも、業務の根拠となる法律や症例を再確認しています。テストの結果、点数が低い分野については、特別講習を



5 ご利用者・スタッフの安全のために

今年度伸こう福祉会では、「ノーリフティングポリシー（持ち上げない介護）」を取り入れ、日本ノーリフト協会による指導のもと、研修を行なっています。ノーリフティングポリシーとは、オーストラリア看護連盟が看護師の腰痛予防対策のために1998年頃から提言したもので、危険や苦痛の伴う、人力のみの移乗を禁止し、患者の自立度を考慮した福祉用具使用による移乗介護を義務付けたものです。
(http://www.nolift.jp/aboutus/ 日本ノーリフト協会HPより引用)

介助者が腕や腰を使って行う移乗介助は、介助者の肉体的負担のみならず、ご利用者にとっても精神的、肉体的に苦痛を伴う介助方法であると位置づけ、今まで行なってきた介護を改めて見直し、「押さない・引かない・持ち上げない・ねじらない・運ばない」介護への理解を促進し、安全・安心なサービスの確立に努めます。



階層	階層別研修	
内定者	○中途入職者 入職手続き 法人規定や勤務上の規則について理解する。 入職時オリエンテーション 施設見学及び入職後の業務や注意事項等について理解する。	○新卒入職者 内定者ガイダンス 入職に向けた準備及び先輩や同期職員との懇親を深める。 入職前オリエンテーション 法人に対する理解やビジネスマナー・コミュニケーション研修及び法人の基本理念を学ぶ。
	○中途入職者 新入職カレッジⅠ 法人の基本理念や品質目標の理解及び今年度の重点項目についての理解を深める。 新入職カレッジⅡ 介護スタッフとして必要な基礎知識・技術を習得する。	○新卒入職者 新卒カレッジ (介護・保育共通) 社会人として必要な知識や対人援助職としておさえておくべき必要なテーマを学ぶ。 (介護) 介護スタッフとして必要な基礎知識・技術の習得。職業倫理を学ぶ。 (保育) 保育士として必要な知識や経験を、OJTとして実際の現場で学ぶ。
新入職スタッフ		資格取得サポート 専門分野の知識向上や職種同士の交流により相談し合える関係構築を。 (本年度の主な内容)生活相談員カレッジ、ナース会議、ケアマネ研修、安全衛生監査員養成研修
一般スタッフ		
リーダー・主任	施設内カレッジ・OJT 施設内スタッフのスキルアップや品質向上を目指す。	リーダーカレッジ リーダー職に向け、専門性の向上及びマネジメント技術向上を目指す。
施設長	全スタッフカレッジ 法人の理念・品質方針を共有し、サービスの品質向上を目指す。	施設長カレッジ 品質向上やマネジメント技術向上及び戦略経営を目指す。

NEW 新規施設の開所

FACILITY

新たな施設の開所で、地域のお役に立つ



BOWLING

ボウリング大会
2015年8月7日
横浜市中区「ハイランドレーン」
参加者152名



VOLLEYBALL

バレーボール大会
2015年8月28日
横浜市中区「中スポーツセンター」
参加者92名



ATHLETIC MEETING

大運動会
2015年10月4日
河原町グラウンド
参加者335名



6 伸こう福祉会運動会

1期のテーマである「人づくり及び私たちの credo の1つ「One Family」を具現化するための試みとして、スタッフとスタッフ家族、取引先の方々で行う運動会を開催しました。大人数が同時に施設や園を離れることはできませんが、なるべく多くのスタッフが関わられるよう、趣向の異なる3つのイベントを日を分けて行い、3日間を通して全スタッフの6割となる579名が参加しました。

事業責任者を団長に、事業毎（特別養護老人ホーム、デイサービス、保育など）にチームカラーのハチマキで団結し総合得点を競い合った本イベントは、競技や応援に、時に熱く、時に冷静に、普段とは違う活躍を見せる仲間の姿にファミリーの絆を深めた催しとなりました。



小規模保育事業所 キディ元住吉・川崎

2015年度より、子どもの保育、子育て支援を総合的に進める新しい仕組みの一環として「子ども・子育て支援法」が始まり、小規模保育施設は「小規模認可保育所」となり国の認可事業として位置づけられました。

小規模保育事業とは、0-2歳児を対象とした、定員が6人以上19人以下の少人数で行う保育です。一人の保育スタッフが担当する子どもの数が少ないため、子どもの発達に応じた手厚く質の高い保育が期待されています。

施設概要 事業形態/小規模保育事業所(認可保育園) 定員/18名
開園予定/2016年4月1日 所在地/川崎市中原区井田中/町2-1



施主検査の様子

新規施設の開所

CSR
に基づく
伸こう福祉会の取り組み
(CSR=Corporate social responsibility: 企業の社会的責任)



CSR
WITH
お客さま
とともに
CLIENTS

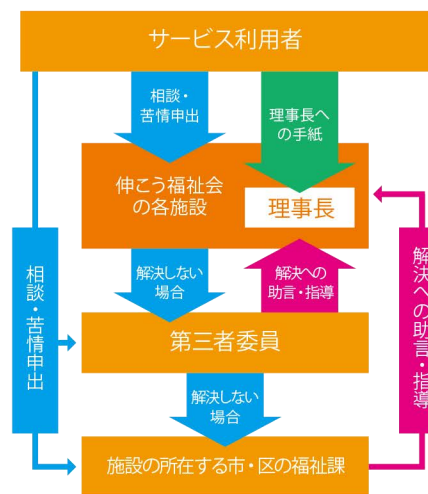
昨日より今日、今日より明日、よりよいお手伝いができるようにそれが、伸こう福祉会のサービスのかたちです

お客さまの声を運営に活かすために

社会福祉事業の提供者は、「提供する福祉サービスについての苦情」の適切な解決に努めなければならないと社会福祉法第82条に定められています。「お客さまの声」は、私たちにとって、そして福祉制度にとって、サービスをより良くするための一番の薬です。そのため、私たちはお客さまが気軽にご意見やご要望、苦情などを話していただけるよう、普段からの関係づくりに努めています。

「理事長への手紙」BOXの設置

スタッフや施設、法人に対する要望や意見など、ご利用者やご家族をはじめとしたお客さまが理事長宛にダイレクトに伝えたいことを投函できるBOXを各所に備えています。BOXは月に1度、外部委託先が中身を回収し、理事長の元へ届けられます。頂いた貴重な声は、サービスの向上に役立っています。



ご家族が運営主体となり施設と関わる「家族の会クロス」

「特別養護老人ホームクロスハート栄・横浜」には、現在または過去にクロスハートをご利用された方のご家族が運営主体となり、会員同士の親睦・知識向上・相互扶助を目的とした会「家族の会クロス」があります。本会は、年に1度行う「報告会(総会)」を始め、年2回の「意見交換会」、横浜市社会福祉協議会の福祉バスを利用した「バスハイク」、「クロスハートフェスティバル」(クロスハート栄・横浜で毎夏行うお祭り)へのバザー参加、ご利用者の繕い物など、様々な場面で活躍しています。



理事長への手紙BOX

家族の会クロス 会長 山崎 均様より

高齢化が進んでいる今日、多くの方が介護を必要とする家族を抱え、その負担に耐えているのが現状です。このような中で幸いにも施設に入ることが出来た時、誰もがほっとするものですが、同時に「これで良いのか」という後ろめたさを感じるのも事実です。本来家族がすべき事を他人に任せているという負い目、そして何よりも入居した本人がどう感じているのだろうかといったような事に皆思い悩むものです。家族の会クロスはこのような悩みを持つ者同士が気楽に話し合い、悩み事の相談等ができる場を作ろうという目的で設立されました。設立後14年が経ちますが当初の想いを継承し、いろいろな行事を通じて入居者や施設のお役に立てるよう

ISOを通じた基準の整備

よりよいサービスをお客さまへ提供するための仕組みをつくり、第三者の目線で評価をしていただくため、各施設で品質マネジメントシステム「ISO9001」の認証を取得し、更新を重ねています。2015年10月8・9日には、定期審査(サーベイランス)が行われました。

WITH CLIENTS

CSRに關する伸こう福祉会の取り組み

「外出レクリエーション」の充実施設にご入居された後も、今まで通り「地域・社会」との関わりを持っていただきたく、外出もアクティビティの一環として重要視しています。車がない、運転手がない、忙しい等のスタッフ側の理由でご利用者が外出する楽しみが減らないよう、法人本部から各施設へ赴き外出レクリエーションを支援しました。

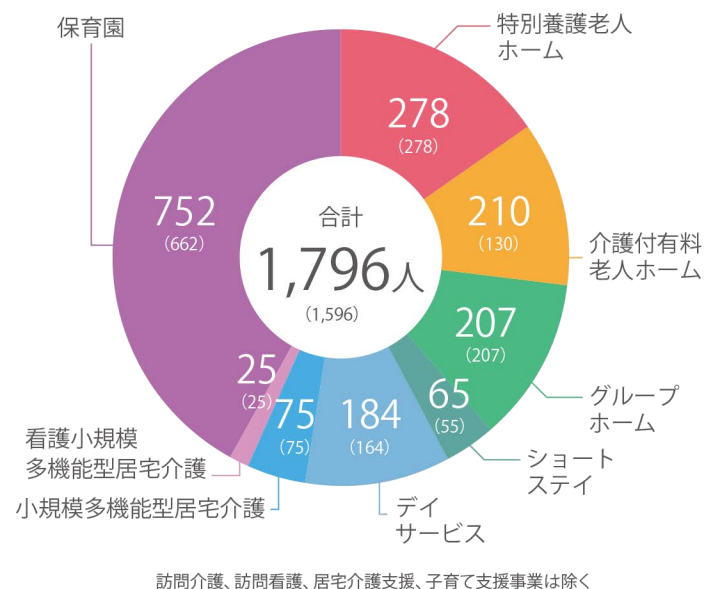


11月27日(金)
ご利用者様3名、付添スタッフ1名とレク担当2名の合計6名で野毛山動物園に出掛けました。風が強く肌寒い日でしたが、園内の動物達をゆっくり見回りました。ダチョウやキリンのおやつ時間と丁度重なり豪快に食べる様子をご覧になったり園内を自由に歩き回る孔雀を間近でご覧になったり、檻の中のライオンが低いなり声をあげたのに驚かれたりと楽しいアクシデントがもりだくさんのお出かけになりました。

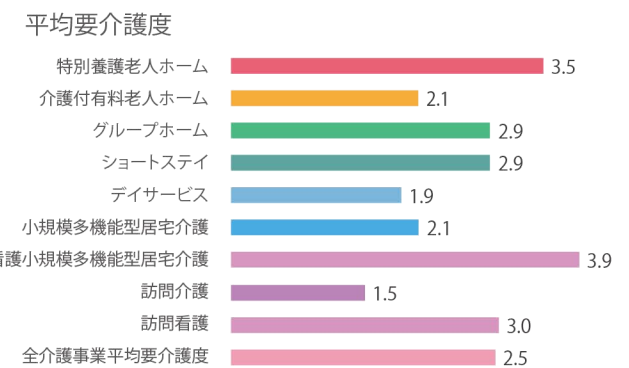
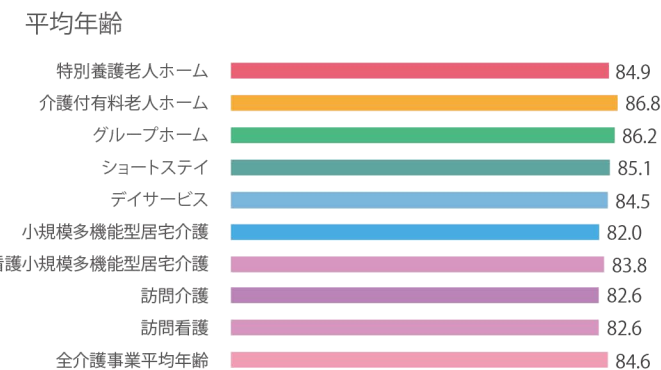
DATA

2015年12月末現在 ()内は昨年度の数字

事業毎のご利用者定員数



介護事業の平均年齢・平均要介護度

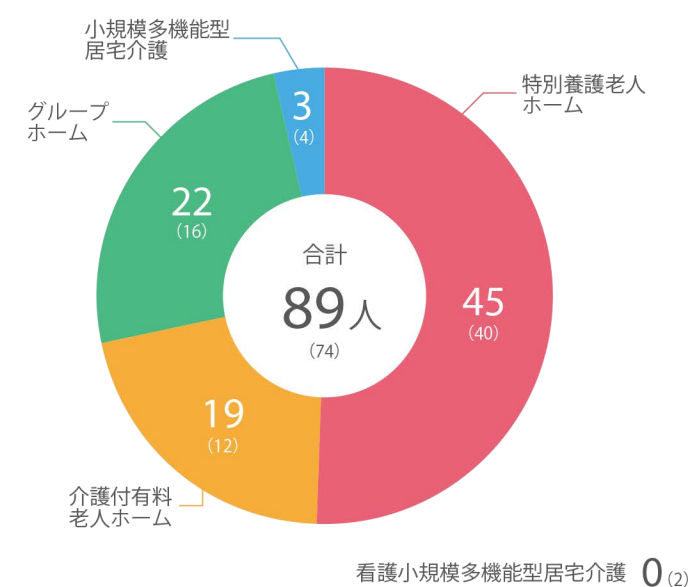


要支援1=0.375、要支援2=1で算出。
介護付有料老人ホームの自立利用者は11.5% (平均要介護度には含まれず)。

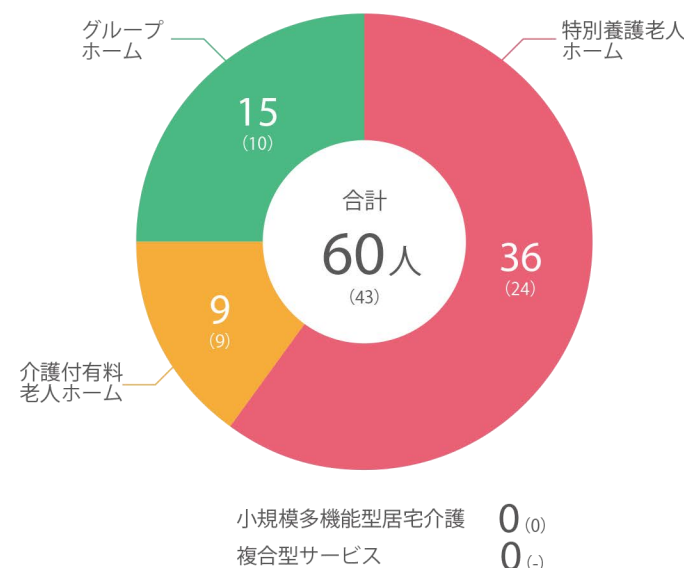
今年度に亡くなられたご利用者の人数

亡くなられたご利用者を偲ぶ「追悼の会」

「特別養護老人ホーム クロスハート栄・横浜」では、毎年11月に、お亡くなりになったご利用者を偲ぶ「追悼の会」を開いています。本会は、ご家族や関わったスタッフ(異動したスタッフ含む)が集い、ご利用者と過ごした思い出を、映像とスタッフからの感謝の言葉で振り返り、献花と祈りを捧げています。参加をされたご家族からは、「亡くなったらそこで関係が終わり」ではなくて嬉しい、「時間が経つと薄らいでしまう思い出を、この日に語り合うことで思い出せる」という言葉を頂いています。施設内にある「メモリアルルーム」の壁面には、開所時から現在に至るまでのお亡くなりになった方の名前が刻まれ、スタッフが自身の仕事を振り返る場所としても機能しています。終末期のご利用者やご家族は、スタッフに様々な気づきや学びを与えて下さいます。私たちはそれを真摯に受け止め、「クロスハートでの最期の時間」を選んで下さったご利用者とご家族に感謝をしつつ、お手伝いをさせていただきます。



その内、施設内で看取りケアをさせていただいたご利用者



CSR WITH
地域社会
とともに
LOCAL COMMUNITIES

私たちが今日ここで仕事ができるのは、
すべて地域のご理解とご協力によるものです
そのご恩に報いるためにも、地域のお役に立ちたいと考えています

社会福祉法人としての更なる取り組み

社会福祉法人とは、社会や地域のニーズに応えるために社会福祉法第22条に基づいて設立された法人です。近年、経済・雇用情勢の変化に伴って、これまでに無かった新たなニーズが絶えず発生してきています。そんな多様化するニーズを把握し、対応するために、伸こう福祉会では地域の方と繋がる機会を多く設けています。



地域の方にホームにいらしていただくために

各施設で定期的に行う地域に向けたイベントとは別に、クロスハート幸・川崎を始めとするいくつかの施設では、日常的に地域の方が自由に入出りできる「カフェコーナー」や「図書コーナー」を広く設けています。また、クロスハート湘南台二番館では、約100名を動員できる「クロスハートホール」や小グループで集える「集会室」を地域に開放しています。パソコン教室や体操教室、料理教室などの様々な講師を招いたり、地域の有識者の講演をホーム内で行なっていただくことによって、ご入居者の趣味や学びの活動の機会や、様々な発信をしていただく場を設けています。

これらの取り組みは、地域の方に普段あまり足を踏み入れることのない「老人ホーム」をもっと身近に感じてもらうと同時に、ご利用者がホームに来た地域の方と触れ合うことで、入居しながらも社会参加をすることが出来るという、双方の効果を期待して

地域住民が主体となって行う「居場所」づくりの支援

少子高齢化の急速な進行に伴い、近年は、「医療」「介護」といった専門的サービスの前段階となる「介護予防」や「日常生活支援」サービスが重要視されています。また、高齢者施設は、地域コミュニティの重要な拠点として、要介護・要支援認定者のみならず地域の高齢者全般を対象に、「高齢者が社会参加し続けること」及び「住民同士が相互に助け合うことのできる関係を作ること」等を目的とした住民主体による「居場所」づくりを支援し、地域力を高めていくことが求められています。

クロスハート十二所・鎌倉をはじめとする小規模多機能型居宅介護事業所では、地域密着型サービスという住民の生活の延長線上にある拠点であることを利点にして、定期的に「コミュニティカフェ」を開催しています。初めは地域の方から

第10回
クロスハート
コミュニティカフェ

素材は「イングリ」です

スタッフの「手作りおかし」を食べて
「イングリ」で「ストロップ」を作ってみませんか

日時：2月20日(土) 1時～4時
場所：社会福祉法人 伸こう福祉会
クロスハート十二所・鎌倉
小規模多機能
(お問い合わせ 53-8962)
次回は、3月20日予定しています。

DATA

※介護事業31事業(ショートステイ含まず)計、保育事業9事業計の件数/年

地域に向けたイベント

	介護事業	保育事業
勉強会・講演会	43件	4件
映画鑑賞会・音楽演奏会	25件	1件
フェスティバル・パーティー	28件	21件
カルチャースクール	67件	0件
食事会	44件	2件
世代間交流	38件	15件
その他	13件	5件

地域ボランティアの方が主導となって開催して下さったイベント

	介護事業	保育事業
歌の会・演奏会	353件	7件
朗読会	13件	0件
体操・ダンス	216件	1件
もの作り	154件	1件
その他	17件	18件

地域で開催されたイベントへのご利用者の参加

介護事業	保育事業
63件	6件

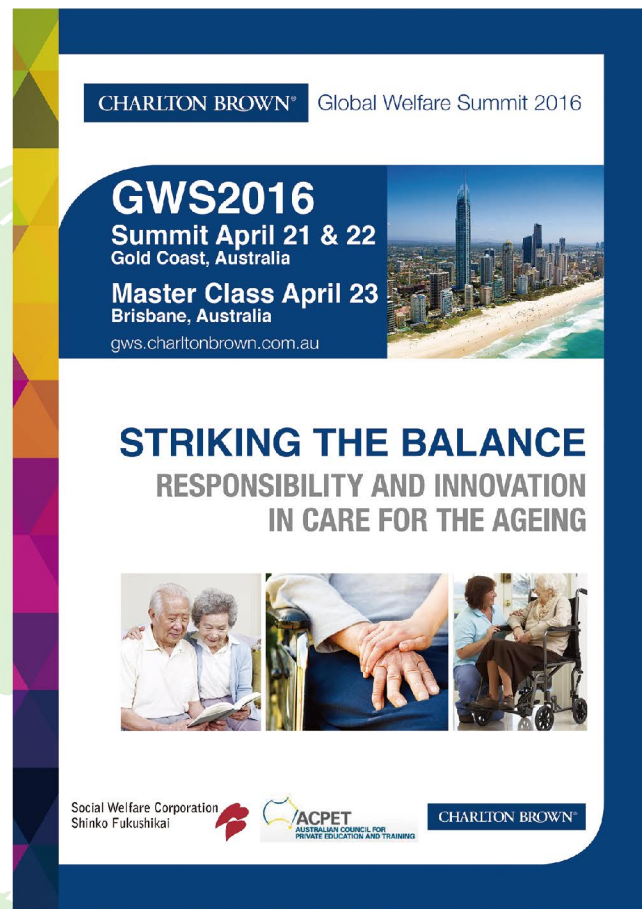


世界とつながる

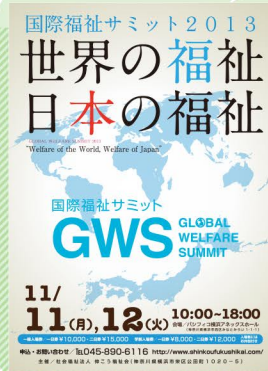
国際福祉サミット2016 オーストラリアで開催

少子高齢化の問題は、進行速度の差こそあれ、日本のみならず世界各国が直面する共通の重要課題といえます。伸こう福祉会は、2013年11月に横浜で「国際福祉サミット(GWS)～世界の福祉・日本の福祉～」を開催し、同業他社と共に海外で活躍する福祉の専門家から各国の様々な先進事例を学びました。

その時にオーストラリアからのゲストスピーカーとして参加したケイ・ガンリー氏が経営する福祉の専門学校 CHARLTON BROWN® が会を引き継ぎ、2016年4月、オーストラリアのゴールドコーストにて「第2回国際福祉サミット～高齢者介護における“責任”と“イノベーション”のバランス～」が開催されることになりました。このネットワークを世界各国に構築し、参加国同士が互いに学び合い、問題解決への糸口を探っていくものにし



第1回開催時の様子



オーストラリアより福祉を志す学生がボランティアで来日

国際福祉サミットで繋がったご縁から、先述の CHARLTON BROWN® より、毎年、学生がボランティアとして伸こう福祉会のホームを訪れてくださっています。オーストラリアならではのアクティビティをするため高齢者施設や保育園を回った他、スタッフとの交流会では、国の違いを越えて福祉について語り合いました。伸こう福祉会からも、「持ち上げない介護」を学ぶためにオーストラリアに渡っています。



海外活動



「第2回グローバルフォーラム：高齢者のためのイノベーション」にパネリストとして参加

2015年10月、神戸市で開かれたWHO主催フォーラムに専務理事の片山ます江が招かれ、パネリストとして参加しました。「日本は人手不足のため介護職を外国から受入れる準備を進めていますが、こうした人材を安価な労働力と捉えるのではなく、国や文化の多様な知恵と経験を学びあい、世界共通の課題“高齢化”に、より良い解決を共に求めていくことが大切」と、ダイバーシティから生まれる活力について述べました。

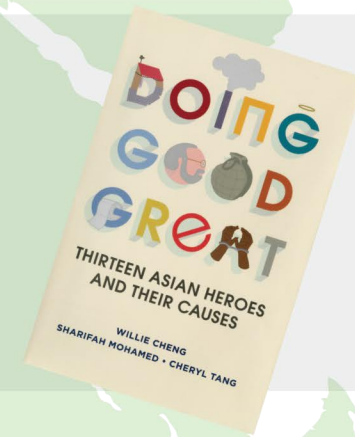


杭州浙江省の講演会にスピーカーとして参加

2015年12月、中国杭州浙江省の企業「浙商」が主催する女性起業家向けの講演会「財智女性 閃耀東方」に専務理事の片山ます江が招かれ、スピーカーとして参加しました。500名を超える起業家を志す聴講者へ、既存の仕組みや制約にとらわれない自由な発想で機能しきれていない社会システムに働きかけることで新たなサービスを生み出してきたこれまでの歩みとこれからの展望を紹介しました。

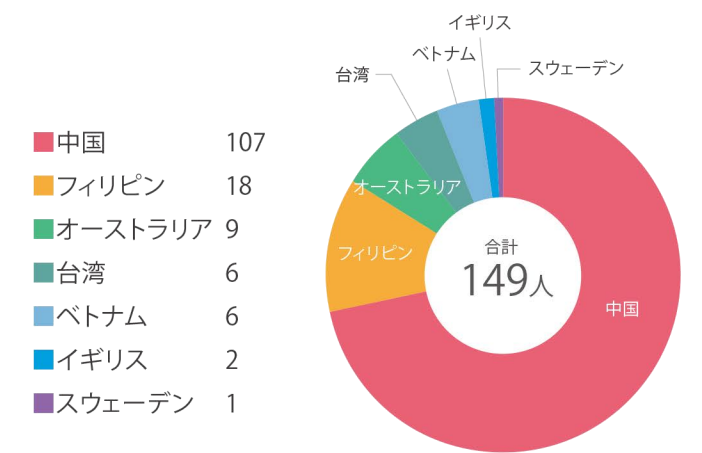
海外出版の書籍で紹介

書籍『DOING GOOD GREAT - THIRTEEN ASIAN HEROES AND THEIR CAUSES』(善い行いを偉大に - アジアのヒーロー 13人とその動機)で、片山ます江が日本の高齢者事業の第一人者として紹介されました。本書においては、アジア各国の課題に取り組む13名を取り上げ、介護と保育で家族や社会が求める解決策提供に邁進する社会起業家としての歩みと理念を紹介しています。また、出版に伴い、11月シンガポールで開催されたメディア向けの出版記念イベントに参加しました。



海外からの視察の受け入れ状況

施設見学に加えて、法人概要、日本の介護制度の枠組み、事業別の運営の現状と特徴などを説明し、運営責任者との具体的な課題に関するQ&Aを通じ、相互交流を深めています。



CSR

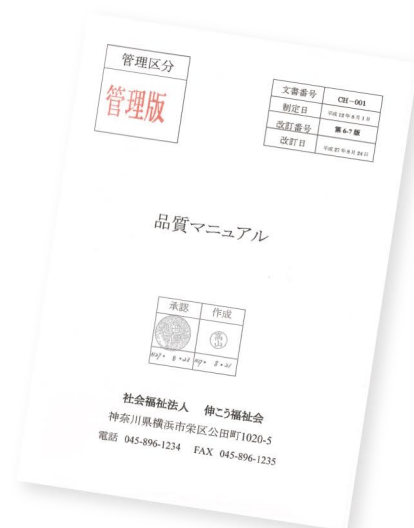
WITH
ビジネス
パートナー
とともに
BUSINESS PARTNERS

お客さまへよりよいサービスを目指すうえで、お取引先の力は
欠かせません。法人が大切にしている理念・方針を共有しながら、
公平・公正な取引を徹底し、ともに成長をしていきます。

公平・公正な取引の徹底

私たちは、日々のサービスを支えて下さる協力会社やお取引先など、様々なビジネス
パートナーとの信頼関係を大切にしながら、相互の価値向上を目指していきたく
考えています。

契約にあたっては、「JIS Q 9001:2008 品質マネジメントシステム 要求事項」に即して
作成している法人内規定「品質マニュアル」及び「稟議規定」に基づき、関連法規を遵
守した公正公平な取引の実現に努めています。また、すべての委託先、購買物品につ
いては、品質レベルを評価・確認し、1年毎に一括して認定の継続を検討しています。



理念・方針の共有

法人が開催する会議やイベント、新たに施設を開所する際に開催しているレセプシ
ョン等にご参加いただき、私たちの理念・方針をご理解いただけるよう取り組んでいま
す。



合同勉強会



スタッフの運動会 (P.10 参照) にも参加をしていただきました

ビジネスパートナーとの協働の事例

商品開発

よりよい福祉サービスの提供・商品の開発を行うため、他業種の企業のお借りし、プロジェクト活動を行っています。



全身シャンプー ノエビアグループ 株式会社ボナンザ様

お年寄り・子どもたち、ケアするスタッフ、環境、すべてに優しいシャンプーを作
りたいと考え、2013年に法人内でプロジェクトを立ち上げました。メンバーが出した
要望に沿い、株式会社ボナンザ様が製造し、施設内でのモニタリングから試作を重
ね、2015年に製品化に至りました。現在は、伸こう福祉会の高齢者施設で使用し
ています。髪も身体も洗える「全身シャンプー」ですが、髪にも身体にも負担を
かけない植物系洗浄成分を使用しています。

他社主催の発表会・コンテストへの参加

様々な発表会やコンテストに積極的に参加し、法人・施設の取り組みを発信すると同時に、それをきっかけとしてサービスの改
善に励んでいます。



第74回 全国産業安全衛生大会

主催：中央労働災害防止協会 日時：2015年10月28日・29日・30日
発表者：横山加代子 (キティ鷗沼・藤沢 看護師)

スタッフの健康管理体制の整備や健康管理規定の制定
等、スタッフの安全衛生の確保について行なった積極
的な取り組みを発表しました。



リビング・オブ・ザ・イヤー 2015

主 催：高齢者住宅経営者連絡協議会 日時：2015年10月15日
発表者：足立聖子 (理事長)、有山志津子 (クロスハート湘南台二番館 施設長)

優れた取り組みをしている高齢者住宅を選び、より多くの人に知ってもらうことで高
齢者住宅業界の発展を目指す本コンテストにおいて、クロスハート湘南台二番館が
最終選考の7ホーム (全国48ホーム中) に選ばれ優勝賞を受賞しました。個別機
能訓練の実施、認知症ケア公開講座やコンサート等、地域との交流が評価されまし



第28回 川崎市老人福祉施設研究発表会

主催：川崎市老人福祉施設事業協会、社会福祉法人川崎市社会福祉協議会
日時：2016年2月28日

発表者：亀石由美子 (クロスハート幸・川崎 介護主任)
「口腔機能管理委員会」の活動として、入居後から歯科
診療後までのフローチャートの作成や口腔アセスメント
シートの作成、口腔ケア研修の実施などの取り組みの成
果と、取り組んだ結果新たに可視化された課題を発表し

口腔機能管理委員会の指針
目的
口腔機能管理委員会は、口腔機能の
低下を早期に発見し、適切なケアを
提供することにより、施設住民の
生活の質を向上させることを
目的とする。
目標
口腔機能の管理において各職種の
連携・協働を推進することにより、施設
住民の口腔ケアを向上させること
で、施設住民の生活の質を向上
させる。口腔ケアの向上により
施設住民のQOLの向上に努める。

CSR WITH
スタッフ
 とともに
 STAFF

私たちは、国籍や性別、年齢、雇用形態、障がいの有無、様々な前職などの違いを越えた多様な「個性」が集い共に成長していく場所を「会社」だと考えています

働きやすい職場環境をつくる

就労環境の整備

スタッフが心身ともに安心・安定して長く働ける職場環境づくりを目指し、様々な取り組みを行っています。全常勤スタッフが年間を通して最大10日間の連続休暇を取得できる「クロスハートバカンス」制度は、今期80%の取得率でした。子育て中のスタッフの支援を行なうスタッフ向け「事業所内保育所」は、既にある「クロスハート幸・川崎」に加え、2015年度は新たに「クロスハート湘南台二番館」にも設置しました。産後のスタッフも安心して職場に復帰でき、子どもが比較的小さなうちから育児と仕事の両立を図ることができます。



施設の垣根を越えた交流を目指して

「One Family」を意識し、施設の垣根を越えた交流ができるよう、月に1度、スタッフのバスデーお祝い遠足を開催しました。箱根、お台場、スカイツリー等、職場とは違う環境の中で事業や役職の垣根を超えて交流することで、観光を楽しみながら、困ったことがあった時に助け合える関係づくりを行いました。



社内報「Moment」の発行

伸こう福祉会では、四半期に一度、社内報Momentを発行しています。スタッフと共有したい情報を発信したり、スタッフの普段見られないプライベートの顔を紹介したり、各所で行なわれたイベント情報を掲載するなど、社内コミュニケーション促進のツールとして活用しています。今年度は、「環境整備」をテーマとした特集も連載しました。

スタッフへの感謝を表す

ロゴマークが意味する「心と心が美しく交差する場所」を実現した方を社内外から招き、その功績を称える「THE CROSS HEART 2015」を開催しました。伸こう福祉会を人生最初の職場として選んでくれた「新卒スタッフ」、日々施設の運営の中心的役割を担っている「施設長」、各種イベントやプロジェクトなどの実現に尽力した社内外関係者、各施設のスタッフ間投票で選ばれた「MVPスタッフ」、10年勤続者や定年退職者、そして法人を共に支えて下さっている外部の方など総勢200人が集まり、法人からの感謝の気持ちを伝えました。



多様なスタッフたちと共に働く

多様化する社会のニーズに応えるため、人材の多様性に配慮した組織風土づくりを目指しています。スタッフが持つ様々な背景の違いが不利にならないよう尊重して受け入れ、その「違い」を積極的に活かすことにより、全スタッフが持っている能力と可能性をフルに発揮し、組織のパフォーマンスを向上させています。現在、65歳以上のスタッフは147名(13.3%)、障がいを持つスタッフは26名(2.3%)働いています。

伸こう福祉会では満70歳を定年とし、健康状態などを考慮したうえで、定年後も働くことを希望するスタッフは再雇用し、最長80歳まで継続雇用することを就業規則に組み入れています。今年度は2名のスタッフが80才の定年を迎えました。

障がい者雇用では、持っている障がいの特性に応じた仕事を振り分けているため、健常者との給与の差は設けておらず、常勤として活躍しているスタッフもいます。

社内外の国際的な要請に対応する国際担当スタッフ

伸こう福祉会で働く外国籍のスタッフは11ヶ国、40名(3.6%)です。そんな外国籍スタッフを支援する窓口となる「国際担当」のスタッフを、本部機能の一つに設けています。英語・中国語・スペイン語の通訳支援を交えて行われる集合研修及び交流会である「インターナショナルクラブ」では、今期は法人の成り立ちや理念の他、記録についてのグループワーク、看取りの考え方についての研修を行いました。また、同3ヶ国語で発行するニュースレターには、外国籍スタッフの活躍を紹介する他、外国語支援ツールの紹介や、日本語の給与明細の訳なども取り上げています。

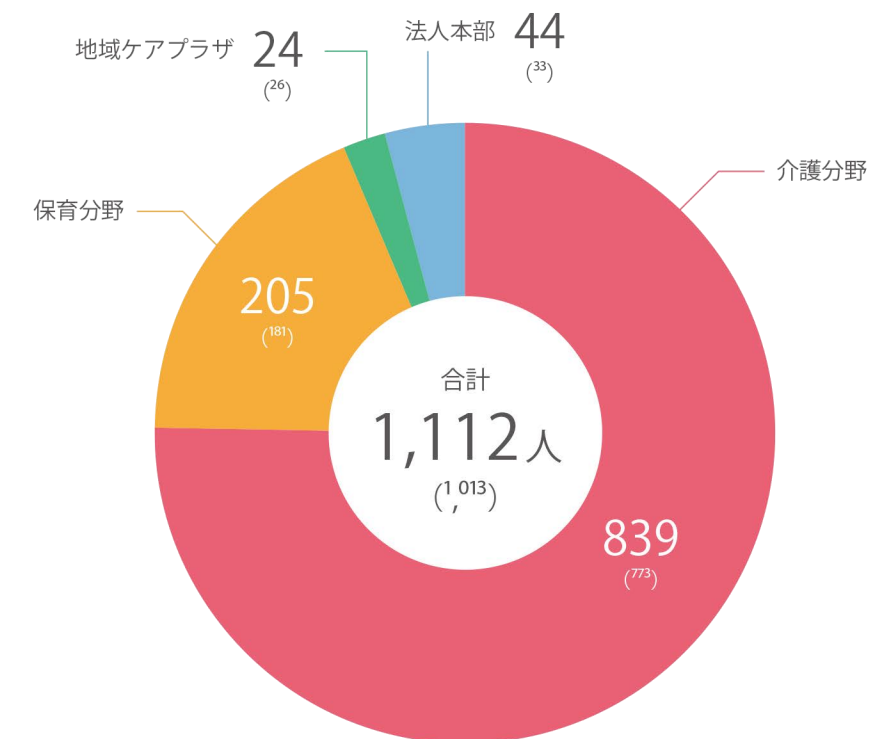


スペイン語版

DATA

2015年12月末現在 ()内は昨年度の数字

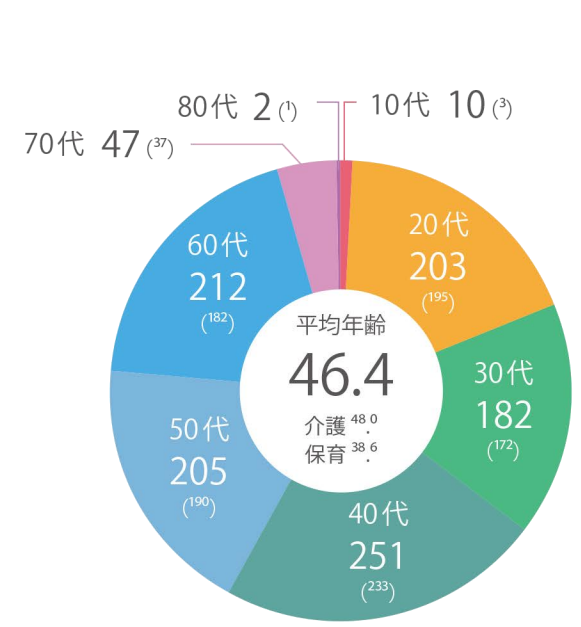
分野毎のスタッフ人数



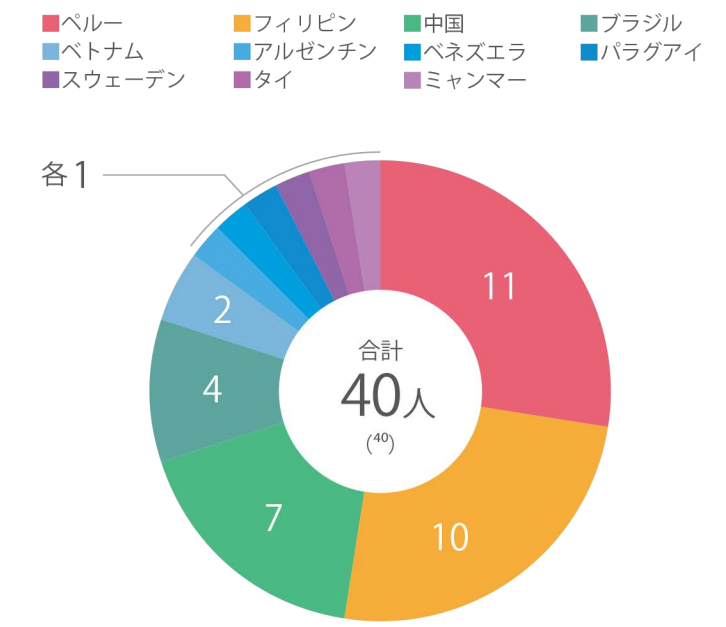
各種資格所有者の人数

介護福祉士	198 (146)
介護支援専門員	89 (64)
社会福祉士	13 (9)
精神保健福祉士	1 (1)
栄養士	15 (17)
管理栄養士	9 (9)
歯科衛生士	2 (2)
看護師	82 (68)
保健士	3 (3)
理学療法士	2 (3)
柔道整復士	3 (1)
作業療法士	1 (0)
保育士	168 (156)

スタッフの年齢割合



外国籍スタッフの国別人数



CSR IN
自然環境
の中で
NATURAL ENVIRONMENT

「人生の先輩たち」から預かった自然環境を損なうことなく
「人生の後輩たち」へ残していくためには、事業活動のあらゆる面で、
地域環境を守る活動に努めなければなりません

地域のクリーン活動

伸こう福祉会の多くの施設がある湘南地域は、鎌倉や江の島など豊富な観光資源を有し、「東京都内から1時間で行ける砂浜も岩浜もある海」として人気のスポットです。その海を守り次世代まで残すことを目的に、ごみの持ち帰り運動やビーチクリーンアップの開催等による美化啓発・海岸清掃ボランティアの支援を行う「公益財団法人かながわ海岸美化財団」が設立され、伸こう福祉会も2014年からビーチクリーン活動に参加を始めました。

特に保育事業では、ISO 14001（環境マネジメントシステムに関する国際規格）を取得している園もあり、日々の保育の中でも環境問題を意識した教育に取り組んでいます。大人になっても記憶に残るような活動を心掛け、食事や菜園づくり、清掃活動等の「体験」を通して自然の大切さを学べる機会を多く設けています。

2016年3月5日、海岸美化への貢献に対し、かながわ海岸美化財団から保育園「キディ鶴沼・藤沢」「キディ湘南C-X」に、感謝状と、記念品として活動地域の「片瀬海岸」の砂で作られた砂時計が贈られました。



横浜市の消防大会へ出場

2015年9月16日、災害に備えて事業所の従業員たちによって構成されている自衛消防隊組織の技術を競い合う「栄区自衛消防隊技術訓練会」（主催：栄区自衛消防連絡協議会）に「特別養護老人ホームクロスハート栄・横浜」のスタッフが参加しました。本大会には横浜市栄区内の企業や事業所から合計15隊、50人以上が参加され、4部門に分かれて消火器やホースによる消火技術を競い合いました。クロスハート栄・横浜の隊員たちは、「2号消火栓操法」「屋内消火栓操法Ⅰ」の部門において最優秀隊に選ばれ、同年10月21日、栄区代表として「横浜市消防操法技術訓練会」に出場しました。



2015年度事故報告

伸こう福祉会の施設では、事故防止委員会を設置し、ヒヤリハット報告の取りまとめや事故の検証を行い、日頃から事故の防止に取り組んでいます。

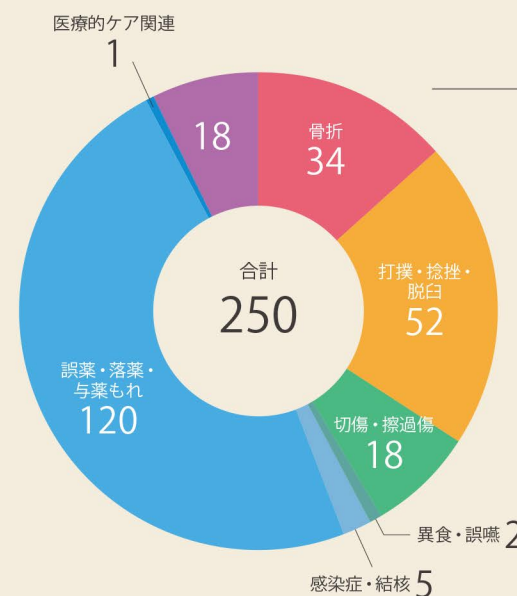
検証結果を共有し、立案した対策が実際に機能しているのか確かめ、見直しが必要なものには新たな改善策の立案を行なっています。

残念ながら様々な取り組みにも関わらず事故は毎年発生しています。

本誌では、2015年度に介護事業所では行政報告をした事故の種類・件数を、保育事業所では加入している「日本スポーツ振興センター」に申請を行った件数を報告します。

事故の状況別件数

介護事業36事業計、保育事業9事業計の件数/年

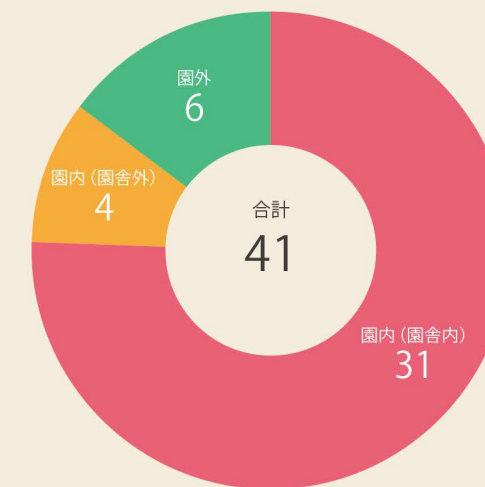


介護事業所

骨折	34
打撲・捻挫・脱臼	52
切傷・擦過傷	18
やけど	0
異食・誤嚥	2
食中毒	0
感染症・結核	5
職員の不祥事	0
誤薬・落葉・与薬もれ	120
医療的ケア関連	1
その他	18
合計	250

保育事業所

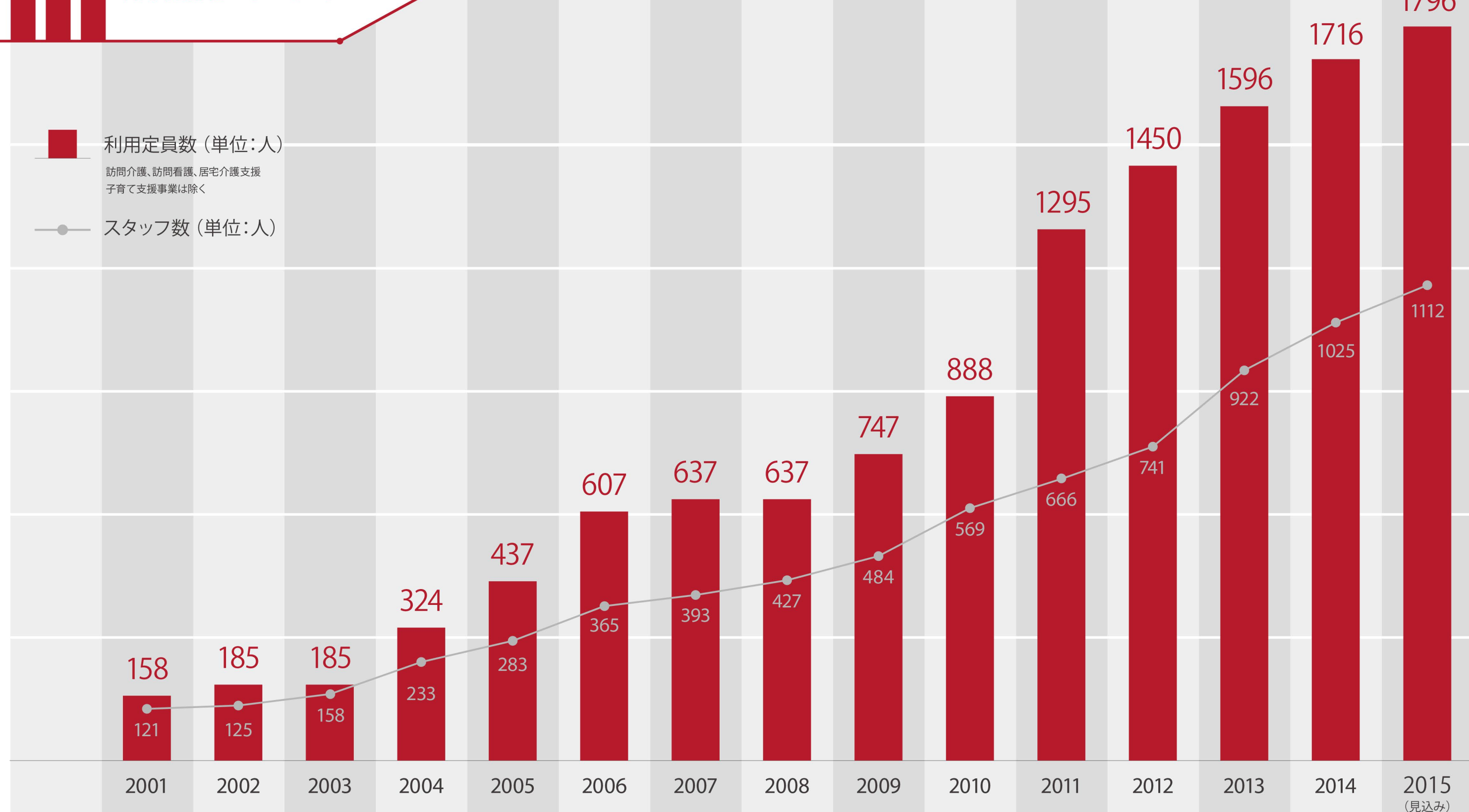
園内（園舎内）のケガ・病気	31
園内（園舎外）のケガ・病気	4
園外	6
合計	41



事故を未然に防止すると共に、起こった事故に対しては、その後の経過対応を速やかに行ない、ご利用者に最善の対応を提供できる事を目的とし、安全管理体制の改善に努めてまいります。

財務ハイライト

FINANCIAL HIGHLIGHTS



	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015 (見込み)
事業活動収入	686,358	724,141	865,272	1,018,566	1,364,870	1,748,569	2,003,084	2,140,262	2,474,827	2,815,159	3,465,515	3,923,530	4,649,121	4,839,918	5,457,000
事業活動収支差額	82,341	102,442	121,392	15,603	53,460	123,121	210,197	201,767	297,481	147,559	263,723	298,720	52,656	-30,078	259,000
総資産	2,343,153	2,363,285	2,426,102	2,837,072	3,569,010	3,727,951	3,685,192	4,874,193	4,755,517	5,378,950	5,819,663	8,799,773	7,986,387	8,370,629	8,548,000

(単位:千円)

ISO26000 中核主題対照表

本報告書では、社会的責任の国際規格ISO26000における7つの中核主題の視点を組み入れた構造で、皆さまへの報告を行っております。

中核主題	課 題	取り組み項目	掲載ページ
組織統治		理事長メッセージ	P.3
		伸こう福祉会の基本理念	P.4-5
		中期計画	P.6
		経営計画書の発行	P.6
		コーポレート・ガバナンス	P.6
		CSRの考え方	P.12
		ビジネスパートナーとの連携	P.20
人 権	デューディリジェンス	スタッフの多様性	P.24
	人権に関する危機的状況		
	加担の回避		
	苦情解決	理事長への手紙BOXの設置	P.13
	差別及び社会的弱者	働きやすい職場環境づくり	P.22
		スタッフの多様性	P.26
		スタッフの多様性	P.26
労働慣行	市民的及び政治的権利	スタッフの多様性	P.26
	経済的、社会的及び文化的権利	スタッフの多様性	P.26
	労働における基本的原則及び権利		
	雇用及び雇用関係	働きやすい職場環境づくり	P.22
		スタッフの多様性	P.26
	労働条件及び社会的保護	働きやすい職場環境づくり	P.22
		スタッフの多様性	P.26
環 境	社会対話	理事長への手紙BOXの設置	P.13
	労働における安全衛生	働きやすい職場環境づくり	P.22
	職場における人材育成及び訓練	研修体系	P.8
		知識テストの実施	P.9
		運動会の実施	P.10
		インターナショナルクラブ	P.24
		ISO14001	P.26
公正な事業慣行	汚染の予防		
	持続可能な資源の利用		
	気候変動の緩和及び気候変動への適応		
	環境保護、生物多様性、及び自然生息地の回復	地域のクリーン活動	P.26
	汚職防止	第三者委員の選任	P.13
消費者課題	責任ある政治的関与	相談・苦情解決の流れ	P.13
	公正な競争	品質マニュアル	P.20
	バリューチェーンにおける社会的責任の推進	品質マニュアル	P.20
	財産権の尊重		
	公正なマーケティング、 事実即した偏りのない情報、及び公正な契約慣行	お客さまとともにページ	P.15-16
コミュニティ参画及び発展	消費者の安全衛生の保護	お客さまとともにページ	P.15-16
	持続可能な消費		
	消費者に対するサービス、支援、 並びに苦情及び紛争の解決	相談・苦情解決の流れ	P.13
	消費者のデータ保護及びプライバシー	ISO9001の認証取得	P.13
	必要不可欠なサービスへのアクセス		
コミュニティ参画及び発展	教育及び意識向上	家族の会クロス	P.13
	コミュニティへの参画	地域社会とともに	P.16-19
	教育及び文化	地域社会とともに	P.16-19
	雇用創出及び技能開発		
	技術の開発及び技術へのアクセス	持ち上げない介護の導入	P.9
	富及び所得の創出		
	健康 社会的投資	クロスハートバカンス	P.7

メディア掲載一覧

2015年4月～2016年3月までにご掲載いただいたものを紹介します。

テレビ・ラジオ

2015年10月4日	NHK「おはよう日本」 高齢者だからできる心に寄り添う介護／クロスハート栄・横浜 デイサービス
2015年10月26日	NHK Eテレ「人生デザインU-29」堀野アナウンサーの挑戦?!／キティ湘南C-X

新聞・雑誌・ネットニュース

2015年4月1日	高齢者住宅新聞 外国籍スタッフの雇用／竹内デニセ(クロスハート金沢・横浜)
2015年5月1日	月刊『清流』 終の棲家／足立聖子(理事長)
2015年5月20日	高齢者住宅新聞 ダイバーシティ研修／クロスハート湘南台二番館
2015年5月28日	タウンニュース(磯子区版) 子育て主婦向け料理教室／横浜市屏風ヶ浦地域ケアプラザ
2015年6月5日	ヨコハマよみうり 「発達障害の理解と支援」講演会／クロスハート湘南台二番館
2015年6月20日	介護ビジョン 期待される介護現場の外国人材／足立聖子(理事長)
2015年6月19日	タウンニュース(藤沢版) 「発達障害の理解と支援」講演会／クロスハート湘南台二番館
2015年6月25日	タウンニュース(磯子区版) 介護の悩み、「つどい」で解消／横浜市屏風ヶ浦地域ケアプラザ
2015年6月30日	日本シニアリビング新聞 クロスハート湘南台二番館／足立聖子(理事長)、有志志津子(クロスハート湘南台二番館)
2015年7月1日	汐見台自治会連合会だより 『エンディングノート』の書き方講習会／横浜市屏風ヶ浦地域ケアプラザ
2015年8月5日	高齢者住宅新聞 高齢者住宅フェア / 足立聖子(理事長)
2015年8月5日	高齢者住宅新聞 地域交流できる介護施設／クロスハート湘南台二番館
2015年8月16日	読売新聞 難解な介護用語 見直し／片山ます江(専務理事)
2015年8月20日	介護ビジョン 知識や経験豊富なベテラン人材管理術／業績管理責任者
2015年9月4日	タウンニュース(藤沢版) 認知症と共に生きる／クロスハート湘南台二番館
2015年9月29日	朝日新聞出版MOOK /クロスハート湘南台二番館
2015年10月20日	介護ビジョン スマイルケア／鈴木佑香(クロスハート栄・横浜)
2015年10月4日	タウンニュース(麻生区版) ハロウィン／キティ百合丘・川崎
2015年11月30日	日本シニアリビング新聞 コミュニティ・カフェ／クロスハート鶴見・横浜 小規模多機能型居宅介護
2015年12月10日	タウンニュース(鶴見区版) コミュニティ・カフェ／クロスハート鶴見・横浜 小規模多機能型居宅介護
2015年12月15日	汐見台ニュース クリスマスイーツ講座／横浜市屏風ヶ浦地域ケアプラザ
2015年12月31日	日本シニアリビング新聞 ホーム葬／クロスハート栄・横浜
2016年1月8日	NHK Eテレ「団塊スタイル」 どう備える?終末期の医療／横浜市屏風ヶ浦地域ケアプラザ
2016年1月15日	汐見台ニュース クリスマスの壁掛けづくり／横浜市屏風ヶ浦地域ケアプラザ
2016年1月19日	神奈川新聞 新たな共生へ 外国人と規制緩和／足立聖子(理事長)、吉岡マリア(クロスハート幸・川崎)
2016年1月29日	シルバー新報 コミュニティ・カフェ／クロスハート鶴見・横浜 小規模多機能型居宅介護
2016年2月1日	月刊介護保険 外国人介護士が働く現場の今・これから／足立聖子(理事長)、林燕(クロスハート野七里・栄)
2016年2月20日	介護ビジョン 外国籍スタッフの雇用／足立聖子(理事長)、吉岡マリア(クロスハート幸・川崎)
2016年3月3日	産経新聞 介護リフト導入研修／クロスハート栄・横浜
2016年3月4日	週刊朝日 ホームの介護力を見極めるには／クロスハート湘南台二番館
2016年3月20日	日本経済新聞 外国人による介護「賛成」7割／劉蓉(クロスハート幸・川崎)
2016年3月24日	産経新聞 高齢者をいかせ／村雲雅城(看護小規模多機能型居宅介護 クロスハート港南・横浜)

FACILITIES

施設一覧

今年度、それぞれの施設で働いたスタッフの一部をご紹介します。

特別養護老人ホーム事業

クロスハート栄・横浜



〒247-0014
神奈川県横浜市栄区公田町1020-5
TEL:045-896-1234 FAX:045-896-1235

ACCESS
JR線「大船」駅下車、東口バスターミナル 神奈中バス「湘南ハイツ循環」行「荒井沢公園前」バス停下車、徒歩1分



クロスハート野七里・栄



〒247-0024
神奈川県横浜市栄区野七里1-2-31
TEL:045-897-3456 FAX:045-897-3457

ACCESS
JR線「大船」駅下車、東口ターミナル 神奈中バス「上之」行「犬山南」バス停下車、徒歩8分
又はJR根岸線「港南台」駅下車、神奈中バス「上郷ネオボリス」行「西ヶ谷」バス停下車、徒歩5分



クロスハート幸・川崎



〒212-0007
神奈川県川崎市幸区河原町1-37
TEL:044-533-9400 FAX:044-533-9401

ACCESS
JR線「川崎」駅より徒歩15分又はJR線「川崎」駅下車、川崎市営バス「川崎駅西口北86番(1174)乗り場」から乗車「神明町」バス停下車、徒歩5分



クロスハート中・横浜



〒231-0056
神奈川県横浜市中区若葉町3-46-1
TEL:045-250-3511 FAX:045-261-0500

ACCESS
京浜急行線「黄金町」駅より徒歩8分
又はJR根岸線「関内」駅より徒歩10分



クロスハート金沢・横浜



〒236-0033
神奈川県横浜市金沢区東朝比奈2-54-2
TEL:045-791-7223 FAX:045-791-7224

ACCESS
京浜急行線「金沢八景」駅下車、京急バス「三信住宅」行「三信センター」バス停下車、徒歩5分



クロスハート二階堂・鎌倉



〒248-0002
神奈川県鎌倉市二階堂267-67
TEL:0467-61-3345 FAX:0467-61-3346

ACCESS
JR横須賀線「鎌倉」駅下車、京急バス「大塔宮」行「大塔宮」バス停下車、徒歩10分



クロスハート田谷・栄



〒244-0844
神奈川県横浜市栄区田谷町1249
TEL:045-858-3330 FAX:045-858-3331

ACCESS
JR線「大船」駅下車、西口バスターミナル 神奈中バス「ドリームハイツ」行「立場ターミナル」、「戸塚バスターミナル」行「田谷」バス停下車、徒歩3分



クロスハート宮前・川崎



〒216-0001
神奈川県川崎市宮前区野川3240-1
TEL:044-753-2345 FAX:044-753-2346

ACCESS
東急田園都市線「鷺沼」駅下車、東急バス「野川台公園前」行「野川台公園前」バス停下車、徒歩5分



クロスハート港南・横浜



〒233-0011
神奈川県横浜市港南区東永谷1-37-5
TEL:045-829-2345 FAX:045-829-2346

ACCESS
京浜急行線、横浜市営地下鉄「上大岡」駅下車、京急バス「南高校」行「桜台」バス停下車、徒歩5分



クロスハート本鶴沼・藤沢



〒251-0028
神奈川県藤沢市本鶴沼3-11-39
TEL:0466-35-6622 FAX:0466-35-6633



ACCESS
小田急江ノ島線「本鶴沼」駅より徒歩10分
又はJR東海道線「藤沢」駅下車、江ノ電バス「鶴沼車庫」行「原」バス停下車、徒歩1分

クロスハート南・横浜



〒232-0011
神奈川県横浜市南区日枝町1-5
TEL:045-260-0566 FAX:045-260-0567



ACCESS
京浜急行線「黄金町」駅より徒歩5分
又は横浜市営地下鉄「吉野町」駅より徒歩5分

クロスハート湘南台・藤沢



〒252-0805
神奈川県藤沢市円行1-1-7
TEL:0466-41-2234 FAX:0466-41-2235



ACCESS
小田急江ノ島線、相鉄いずみ野線、横浜市営地下鉄「湘南台」駅より徒歩15分

クロスハート石名坂・藤沢



〒251-0875
神奈川県藤沢市本藤沢1-10-14
TEL:0466-84-3033 FAX:0466-84-3031



ACCESS
小田急江ノ島線「藤沢本町」駅より徒歩10分

クロスハート円行・藤沢



〒252-0805
神奈川県藤沢市円行2-13-1
TEL:0466-52-4330 FAX:0466-52-4331



ACCESS
小田急江ノ島線、相鉄いずみ野線、横浜市営地下鉄「湘南台」駅より徒歩8分

クロスハート十二所・鎌倉



〒248-0001
神奈川県鎌倉市十二所937-8
TEL:0467-53-8961 FAX:0467-53-8964



ACCESS
JR横須賀線「鎌倉」駅下車、京急バス「ハイランド循環」行「ハイランド入口」バス停下車、徒歩1分
又はJR横須賀線「鎌倉」駅下車、京急バス「鎌倉霊園正門前大刀洗」行、「金沢八景」行「十二所」バス停下車、徒歩5分

アリストージュ経堂



〒156-0052
東京都世田谷区経堂3-20-22
TEL/FAX:03-6413-6115(介護フロア直通)



ACCESS
小田急小田原線「経堂」駅より徒歩11分
又は小田急小田原線「千歳船橋」駅より徒歩11分

クロスハート湘南台二番館



〒252-0805
神奈川県藤沢市円行2-25-1
TEL:0466-43-2700 FAX:0466-43-2701



ACCESS
小田急江ノ島線、相鉄いずみ野線、横浜市営地下鉄「湘南台」駅より徒歩12分

クロスハート鶴見・横浜



〒230-0001
神奈川県横浜市鶴見区矢向3-30-1
TEL:045-716-6300 FAX:045-716-6329



ACCESS
JR南武線「矢向」駅より徒歩約5分

クロスハート栄・横浜



〒247-0014
神奈川県横浜市栄区公田町1020-5
TEL:045-896-1243 FAX:045-896-1244



ACCESS
JR線「大船」駅下車、東口バスターミナル 神奈中バス「湘南ハイツ循環」行「荒井沢公園前」バス停下車、徒歩1分

クロスハート金沢・横浜



〒236-0033
神奈川県横浜市金沢区東朝比奈2-54-2
TEL:045-791-7266 FAX:045-791-7224



ACCESS
京浜急行線「金沢八景」駅下車、京急バス「三信住宅」行「三信センター」バス停下車、徒歩5分

クロスハート本鶴沼・藤沢



〒251-0028
神奈川県藤沢市本鶴沼3-11-39
TEL:0466-35-8677 FAX:0466-35-6633



ACCESS
小田急江ノ島線「本鶴沼」駅より徒歩10分
又はJR東海道線「藤沢」駅下車、江ノ電バス「鶴沼車庫」行「原」バス下車

横浜市屏風ヶ浦地域ケアプラザ



〒235-0023
神奈川県横浜市磯子区森4-1-17
TEL:045-750-5678 FAX:045-751-2322



ACCESS
京浜急行線「屏風浦」駅より徒歩5分

クロスハート幸・川崎



〒212-0007
神奈川県川崎市幸区河原町1-37
TEL:044-533-9410 FAX:044-533-9401



ACCESS
JR線「川崎」駅より徒歩15分又はJR線「川崎」駅下車、川崎市営バス川崎駅西口北86番(川174)乗り場から乗車「神明町」バス下車、徒歩5分

看護小規模多機能型居宅介護 クロスハート港南・横浜



〒233-0011
神奈川県横浜市港南区東永谷1-37-4
TEL:045-823-4810 FAX:045-823-4811



ACCESS
京浜急行線、横浜市営地下鉄「上大岡」駅下車、京急バス「南高校」行「桜台」バス下車、徒歩5分

クロスハート十二所・鎌倉



〒248-0001
神奈川県鎌倉市十二所937-8
TEL:0467-53-8963 FAX:0467-53-8964



ACCESS
JR横須賀線「鎌倉」駅下車、京急バス「ハイランド循環」行「ハイランド入口」バス下車、徒歩1分
又はJR横須賀線「鎌倉」駅下車、京急バス「鎌倉霊園正門前大刀洗」行、「金沢八景」行「十二所」バス下車、徒歩5分

クロスハート湘南台二番館



〒252-0805
神奈川県藤沢市円行2-25-1
TEL:0466-41-9500 FAX:0466-41-9501



ACCESS
小田急江ノ島線、相鉄いずみ野線、横浜市営地下鉄「湘南台」駅より徒歩12分

訪問介護・訪問看護事業

クロスハート・ヘルパーステーション栄・横浜



〒244-0842
神奈川県横浜市栄区飯島町527-5-8
TEL:045-342-4455 FAX:045-342-4452



ACCESS
JR線「大船」駅下車、東口ターミナル 江ノ電バス「戸塚駅」行「飯島上町」バス下車、徒歩5分

訪問看護 クロスハート港南・横浜



〒233-0011
神奈川県横浜市港南区東永谷1-37-4
TEL:045-823-1144 FAX:045-823-4811



ACCESS
京浜急行線、横浜市営地下鉄「上大岡」駅下車、京急バス「南高校」行「桜台」バス下車、徒歩5分

小規模多機能型居宅介護事業・看護小規模多機能型居宅介護事業

クロスハート十二所・鎌倉



〒248-0001
神奈川県鎌倉市十二所937-8
TEL:0467-53-8962 FAX:0467-53-8964



ACCESS
JR横須賀線「鎌倉」駅下車、京急バス「ハイランド循環」行「ハイランド入口」バス下車、徒歩1分
又はJR横須賀線「鎌倉」駅下車、京急バス「鎌倉霊園正門前大刀洗」行、「金沢八景」行「十二所」バス下車、徒歩5分

クロスハート鶴見・横浜



〒230-0001
神奈川県横浜市鶴見区矢向3-30-1
TEL:045-716-6368 FAX:045-716-6329



ACCESS
JR南武線「矢向」駅より徒歩約5分

横浜市屏風ヶ浦地域ケアプラザ



〒235-0023
神奈川県横浜市磯子区森4-1-17
TEL:045-750-5411 FAX:045-751-2322



ACCESS
京浜急行線「屏風浦」駅より徒歩5分

横浜市野七里地域ケアプラザ



〒247-0024
神奈川県横浜市栄区野七里1-2-31
TEL:045-890-5331 FAX:045-890-5332



ACCESS
JR線「大船」駅下車、東口ターミナル 神奈中バス「上之」行「犬山南」バス下車、徒歩8分
又はJR京浜東北線「港南台」駅下車、神奈中バス「上郷ネオポリス」行「西ヶ谷」バス下車、徒歩5分

キディ鶴沼・藤沢 本園／分園



〒251-0031
神奈川県藤沢市鶴沼藤が谷1-7-8
TEL:0466-52-2345 FAX:0466-52-2346



ACCESS
江ノ島鉄線「柳小路」駅より徒歩3分

〒251-0031
神奈川県藤沢市鶴沼藤が谷1-8-16
TEL:0466-52-2370 FAX:0466-52-2380



ACCESS
江ノ島鉄線「柳小路」駅より徒歩3分

キディ古市場保育園



〒212-0052
神奈川県川崎市幸区古市場2-97-2
TEL:044-542-1711 FAX:044-542-1712



ACCESS
JR南武線「鹿嶋田」駅より徒歩8分

キディ石川町・横浜



〒231-0024
神奈川県横浜市中区吉浜町1-6
TEL:045-222-0880 FAX:045-222-0885



ACCESS
JR根岸線「石川町」駅北口より徒歩1分

キディ二子・川崎



〒213-0002
神奈川県川崎市高津区二子5-16-16
TEL:044-829-4567 FAX:044-829-4568



ACCESS
東急田園都市線「高津」駅より徒歩6分
又はJR南部線「武蔵溝の口」駅より徒歩13分

子育てキディ・洋光台



〒235-0045
神奈川県横浜市磯子区洋光台3-13-2-109
TEL:045-836-1225 FAX:045-836-1226



ACCESS
JR根岸線「洋光台」駅より徒歩1分、サンモール商店街内

キディ鈴木町・川崎



〒210-0801
神奈川県川崎市川崎区鈴木町3-2
TEL:044-246-0400 FAX:044-246-0401

ACCESS
京浜急行大師線「鈴木町」駅より徒歩2分

キディ元住吉・川崎



〒211-0034
神奈川県川崎市中原区井田中ノ町2-1
TEL:044-797-0900 FAX:044-797-0901

ACCESS
東急東横線「元住吉」駅より徒歩8分

キディ百合丘・川崎



〒215-0011
神奈川県川崎市麻生区百合丘1-16サンフラレ百合丘7-201
TEL:044-322-0510 FAX:044-322-0513



ACCESS
小田急小田原線「百合ヶ丘」駅より徒歩5分

キディ湘南C-X



〒251-0041
神奈川県藤沢市辻堂神台1-3-39
TEL:0466-30-3515 FAX:0466-30-3516



ACCESS
JR東海道線「辻堂」駅より徒歩5分

伸こう福祉会本部



〒232-0011
神奈川県横浜南区日枝町1-5 4階
TEL:045-260-0568 FAX:045-260-0570



ACCESS
京浜急行線「黄金町」駅より徒歩5分
又は横浜市営地下鉄「吉野町」駅より徒歩5分